

2011年1月27日

(株)ノーリツ

ナム
NAM事業所に「新エネルギー商品研修センター」竣工
太陽光・太陽熱関連機器施工体制を強化・推進

～ 「ダブル発電の電気配線実技」「2階部分に相当する模擬屋根」など、実技・座学を充実 ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井 総一郎、資本金:201億円、東/大証一部上場)は、明石市二見町のノーリツ生産拠点 NAM 事業所に、年間約1,900名を受け入れることができる新エネルギー関連商品(太陽光・太陽熱関連)の施工に必要な実技・知識を習得するための研修施設「新エネルギー商品研修センター」を竣工、1月27日に開所します。

本施設は、実際の施工に近い、具体的な体験ができることが特長です。当社独自の「エコウィル¹などとのダブル発電¹の電気系統の配線体験」を含めた電気配線工事の実技を受けられます。また、普及している「スレート」「和瓦」「平板瓦」「金属棒葺き」タイプの4種の「模擬屋根」を用意、「和瓦」「平板瓦」は2階屋根に相当する地上5メートルの高さで「安全性」の点も含めた施工研修を受けられます。そして既存の温水機器との併用を踏まえた「ガス・石油機器との連携」などの講義も充実させます。商品知識を含めたさまざまな講義も研修カリキュラムに組み込んでおり、1回あたり20名が2日半の研修を受けることが可能です。2月からグループ社員・指定協力施工店を対象に研修を開始し、4月からは得意先の施工研修を予定しています。



(施設内部に「模擬屋根」を設置)



(施設外観)

当社は本年(2011年)、創業60周年を迎えるにあたり、1月から6年間の当社グループの中期経営計画「Vプラン16」を策定しました。新エネルギー分野を含めた環境関連と安全性を基軸とした新製品開発、ソリューションビジネスを行うことで国内、海外での成長を目指す取組みの一環として、今回の研修センターを竣工します。

¹ 太陽光発電とエコウィル(ガスコージェネレーションシステム)、もしくは太陽光発電とエネファーム(燃料電池コージェネレーション)の組み合わせで、日中も夜間も発電することができる。発電時の熱を利用してお湯を作ることができ、給湯や暖房がまかなえる。

《 新エネルギー商品研修センターの概要 》

- (1)所在地 :兵庫県明石市二見町南二見 5
- (2)建築面積 :300 平米
- (3)建物概要 :鉄骨造 2 階建て(延床面積 440 平米)、2 階研修室(20 名 2 室)、吹き抜け実習室
- (4)工期 :着工 2010 年 10 月、竣工 2011 年 1 月、稼働 2011 年 2 月
- (5)設計・施工 :鹿島建設株式会社

【ノーリツ NAM 事業所】

NAM 事業所(NORITZ AKASHI MESSE)は明石市二見町にある敷地面積 12 万 m²のノーリツ生産拠点。NAM 事業所内にはガス給湯機器の主力工場であるノーリツ明石本社工場やグループ会社の生産工場、本社開発センター、総合研修センターがある。1990 年稼働。兵庫県内の他の 1 工場(明石工場)と合わせて給湯機器生産シェア 4 割弱の年間約 110 万台のガス給湯機器・石油給湯機器を生産。